

▼今月の「ポピー」の国語で学習するおもな内容と大切なことがあります。

□の数字は、教科書のページ数です。

2年 ビーバーの大工事 □下8~20

●ビーバーの巣作りの様子について書かれた説明文です。
●ビーバーの行動を、順序に注意して読み取ります。

- 1 切り倒した木を、川の中へ運ぶビーバー。
- 2 木の上に、小枝と石と泥を積み上げ、ダムを作りをするビーバー。
- 3 ダムで水がせき止められてできた湖の真ん中に、巣を作るビーバー。

ビーバーの体の構造や知恵のすばりしさを読み取ります。



4年 一つの花 □上134~146



- 食べ物も満足に口にできない、戦時中の物語です。
●幼いわが子(ゆみ子)に対する両親の願いを読み取ります。
- 1 「一つだけ……」といつも葉を最初に覚えたゆみ子。
 - 2 「一つだけよ」は、お母さんの口癖だったんだカメ!
 - 3 父のいない、十年後の母じゆみ子。

「スモスに囲まれて幸せそう。」

6年 模型のまち □126~148

●放課後の学童クラブで、ビー玉遊びに夢中になつた体験を持つ亮が、転校先の広島で、不思議な夢の体験をする物語です。

- 1 平和公園のある三角州は、帰宅の近道。亮は、広くて木しかない公園だと思っていた。
- 2 真由に、高校の工作クラブの見学に誘われる。そこで作られていたのは、原爆に破壊される前の、人々が生活する三角州のまちの模型だった。
- 3 亮は、模型のまちでビー玉遊びをする夢を見る。……

●生き物の命を大切にしない一人の若い紳士が、生き物に食べられそうになる物語です。



1年 サラダで げんき □下5~19

- 誰が、何をサラダに入れたらいと教えてくれたのかを読み取ります。
- ・のらねこ……かつおぶし
 - ・すずめ……とうもろこし
 - ・あり……砂糖
 - ・おまわりさんを乗せた馬……にんじん
 - ・白くま……こんぶ
 - ・アフリカぞう……油と塩と酢をかけて混ぜる。



3年 サーカスのライオン □上130~148



- 1 一年をとつたライオンのじんざがおりの外に散歩に出る。
- 2 じんざと男の子が出会い、男の子が、サーカスのじんざを毎日訪れる。
- 3 男の子を火事から救い、炎となつたじんざ。

じんざは、金色のライオンになつて、空をかけていつたんだよ。

5年 注文の多い料理店 □124~144

- 料理店の戸に書かれた注文の意味を読み取ります。
- ・二人は、料理店の戸の言葉を、自分の都合のよいように読み取つていく。

富沢賢治は、自分勝手な人間に対する警句をこめて、この物語を書いています。

注文はすいが、どうかいいちょうが、決してござりません。

どなたもどいかお入りください。どうかいいちょうが、決してござりません。